

ワンピース世代

2022. 8. 24

ガンダム世代とワンピース世代という言葉がある。ガンダム世代とは、アニメ『機動戦士ガンダム』を少年期に見て1980年代に社会に出た世代であり、現在45歳から55歳である。一方、ワンピース世代とは、80年代に生まれて、マンガ『ONE PIECE』とともに育った世代、現在23歳から33歳だという。ゆとり世代とも重なってくる。

今の日本では、会社などでガンダム世代とワンピース世代とが混在している。20代のワンピース世代は自由と仲間に価値を置く。40代のガンダム世代はというと、理不尽な組織にとらわれているとも言われている。

ワンピースは、海賊王になろうと自分で決めて海に出た主人公ルフィが、一人ひとり仲間を増やしていき、8人の仲間たちと新世界に向けて自分たちの海賊船で航海を続けていくストーリーである。20代、30代の人たちを見ていると、ワンピースのストーリーに近い行動を取っている若者たちが多いようにも思う。

ワンピース世代の若者たちは、仲間を少人数持っており、その仲間で自分たちの日々の暮らしや人生における第一軸をつくる。上の世代にとっては、所属する組織が第一軸なのに、彼らはそうではない。会社や組織は第二軸以降になっている。

また、ワンピース世代は、仲間を信じ、力を合わせて戦うルフィたちの姿に影響を受けて育っている。大量リストラや大企業の倒産など景気のよくないニュースに触れながら成長している。終身雇用という神話がすでに崩れ、現在は国や会社などの組織が個人を守ってくれない時代になってきている。ワンピース世代は、そのことに一番早く気づいた世代である。そのため、自分は自分で生きていかなければならないという意識を持っている。

一方のガンダムで描かれるのは、期せずして戦争に巻き込まれる少年たちの姿である。主人公のアムロは地球連邦軍という組織の中で、いたるところに矛盾と葛藤を覚えながら戦っていく。組織の中で役割を果たすことで、日本を成長させてきた世代である。幼少期から、自分には組織の中で果たさなければならない役割があり、それを全うするのが正しいことだと教えられてきた。個人レベルで反発心を覚えることはあっても時代がそれを許さなかった。多少の理不尽はあっても、割り切って耐え抜き、組織の序列に従う傾向が見られる。不満があっても投げ出さない粘り強さがこの世代の長所だと言える。

なるほどという面もあるが、そうなのかというところもある。教員の世界を見ていると、変わってきていることを感じる。これからは、ワンピース世代とうまくやっていかなければならない。彼らの特長をとらえて育てていかなければならない。ガンダム世代には、なかなか容易ならざるミッションである。